

# 安全・安心な医療のために

## クリニカルパス

クリニカルパスとは?

入院をしたり、「入院診療計画書」という、入院中の治療や検査、看護ケアなどの内容が書かれた説明書をもらいます。病気の中には、標準化された予定表があり、それを「クリニカルパス」と呼びます。

クリニカルパスには、病院用・患者さま用と2つ準備されており、患者さま用クリニカルパス(=入院診療計画書)には、患者さまが入院してからの食事や処置、検査・治療、そのための準備、退院後の説明等が丁寧に詳しく記されています。

**クリニカルパスを患者さまに  
お渡しするのはなぜ?**

クリニカルパスには、患者さまの入院後のスケジュールが詳しく記されています。「手術の後、いつからお風呂に



入院診療計画書																																							
ホスピタル番号: 00000000 患者名: 清水 太郎 様 長期: 0000年00月00日																																							
<b>腎臓摘出術(単純)を受けられる方へ</b> <b>病名: (右・左)腎臓</b>																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>入院・術前日</th> <th>手術日</th> <th>術後1日</th> <th>術後2日</th> <th>術後3日</th> <th>術後7日</th> <th>術後8日～10日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">治療検査</td> <td rowspan="2">手術前の21時頃に下剤を飲みます。</td> <td rowspan="2">           症状があります。(朝・午前中)            午前中から点滴を開始します。            手術室に行く前に弾性ストッキングをはいていたたぎます。            手術は、午後 分～ 分からです。            病室を出るのは、午後 分頃です。            手術室より尿の管が入ってきます。            手術後酸素をします。         </td> <td rowspan="2">           症状があります。            点滴は終了です。            血をします。            回診時酸素を止めます。         </td> <td rowspan="2">           背中の痛み止めの管を抜きます。            血をします。         </td> <td rowspan="2">           血をします。            血をします。         </td> <td rowspan="2">退院予定</td> <td rowspan="2">           血をします。            血をします。         </td> </tr> <tr> <td>午後9時より飲んだり食べたりできません。</td> <td>午後よりお水が飲めます。 食事が開始となります。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">食事</td> <td rowspan="2">特に安静の必要はありません。</td> <td rowspan="2">           手術前は安静の必要はありません。            手術後はベッド上安静です。         </td> <td rowspan="2">           昼より身体を起こすことができます。            回復のため早期から動くようにしましょう。看護師がお手伝いします。            ストッキングは十分に動けるようになってから、脱ぎます。         </td> <td rowspan="2">           毎日お身体を拭きます。(看護師がお手伝いします)            シャワーが浴びられるようになりましたらお声をおかけします。            浴髪はできます。         </td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>手術前に毛を剃ります。</td> <td>手術前に手術部位の毛を剃ります。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">清潔</td> <td rowspan="2">病棟の構造などについて 必要な物品について T字帯 腹帯 吸込み又は、ストローフィルターコップ 手術について(外来で) 麻酔科医師の診察があります(前日)</td> <td rowspan="2">           手術前に静かにします。            お風呂又はシャワーにお入りください。            手術前に髪をきれいにします。         </td> <td rowspan="2">           ご家族の方は、時頃までに御来院ください。            手術終了後、医師より説明があります。            家庭の方に手術が終わるまで携帯電話をお渡ししますので病院内でお待ちください。         </td> <td rowspan="2">           病理の結果は次回外来でお話します。            忘れず定期受診をしてください。         </td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>1枚</td> <td>1枚</td> </tr> </tbody> </table>		日付	入院・術前日	手術日	術後1日	術後2日	術後3日	術後7日	術後8日～10日	治療検査	手術前の21時頃に下剤を飲みます。	症状があります。(朝・午前中) 午前中から点滴を開始します。 手術室に行く前に弾性ストッキングをはいていたたぎます。 手術は、午後 分～ 分からです。 病室を出るのは、午後 分頃です。 手術室より尿の管が入ってきます。 手術後酸素をします。	症状があります。 点滴は終了です。 血をします。 回診時酸素を止めます。	背中の痛み止めの管を抜きます。 血をします。	血をします。 血をします。	退院予定	血をします。 血をします。	午後9時より飲んだり食べたりできません。	午後よりお水が飲めます。 食事が開始となります。	食事	特に安静の必要はありません。	手術前は安静の必要はありません。 手術後はベッド上安静です。	昼より身体を起こすことができます。 回復のため早期から動くようにしましょう。看護師がお手伝いします。 ストッキングは十分に動けるようになってから、脱ぎます。	毎日お身体を拭きます。(看護師がお手伝いします) シャワーが浴びられるようになりましたらお声をおかけします。 浴髪はできます。				手術前に毛を剃ります。	手術前に手術部位の毛を剃ります。	清潔	病棟の構造などについて 必要な物品について T字帯 腹帯 吸込み又は、ストローフィルターコップ 手術について(外来で) 麻酔科医師の診察があります(前日)	手術前に静かにします。 お風呂又はシャワーにお入りください。 手術前に髪をきれいにします。	ご家族の方は、時頃までに御来院ください。 手術終了後、医師より説明があります。 家庭の方に手術が終わるまで携帯電話をお渡ししますので病院内でお待ちください。	病理の結果は次回外来でお話します。 忘れず定期受診をしてください。				1枚	1枚
日付	入院・術前日	手術日	術後1日	術後2日	術後3日	術後7日	術後8日～10日																																
治療検査	手術前の21時頃に下剤を飲みます。	症状があります。(朝・午前中) 午前中から点滴を開始します。 手術室に行く前に弾性ストッキングをはいていたたぎます。 手術は、午後 分～ 分からです。 病室を出るのは、午後 分頃です。 手術室より尿の管が入ってきます。 手術後酸素をします。	症状があります。 点滴は終了です。 血をします。 回診時酸素を止めます。	背中の痛み止めの管を抜きます。 血をします。	血をします。 血をします。	退院予定	血をします。 血をします。																																
								午後9時より飲んだり食べたりできません。	午後よりお水が飲めます。 食事が開始となります。																														
食事	特に安静の必要はありません。	手術前は安静の必要はありません。 手術後はベッド上安静です。	昼より身体を起こすことができます。 回復のため早期から動くようにしましょう。看護師がお手伝いします。 ストッキングは十分に動けるようになってから、脱ぎます。	毎日お身体を拭きます。(看護師がお手伝いします) シャワーが浴びられるようになりましたらお声をおかけします。 浴髪はできます。																																			
								手術前に毛を剃ります。	手術前に手術部位の毛を剃ります。																														
清潔	病棟の構造などについて 必要な物品について T字帯 腹帯 吸込み又は、ストローフィルターコップ 手術について(外来で) 麻酔科医師の診察があります(前日)	手術前に静かにします。 お風呂又はシャワーにお入りください。 手術前に髪をきれいにします。	ご家族の方は、時頃までに御来院ください。 手術終了後、医師より説明があります。 家庭の方に手術が終わるまで携帯電話をお渡ししますので病院内でお待ちください。	病理の結果は次回外来でお話します。 忘れず定期受診をしてください。																																			
								1枚	1枚																														
<small>注: 退院までの経過には個人差があり、必ずしもこの治療計画通りに経過しない場合もありますので、ご了承ください。</small>																																							
<small>□本人又は□家族 サイン</small>																																							

↑入院診療計画書(=患者さま用クリニカルパス)

入院中に行う検査や処置・患者さまにお願いすることができます。

### ● 医療を効率化する

クリニカルパスを使用することで、不必要的な検査や投薬などを減らすことができ、入院日数の短縮も可能で、入院費用の適正化につながります。

クリニカルパスをお渡しすることにより、患者さまには入院中のスケジュールを把握することができ、より安心して検査や治療を受けていただけると考えています。しかし、病気のことや検査、手術については医師から詳しくご説明させていただきます。分からぬこと、心配なことがあります。専門知識なく医師、看護師にお尋ねください。



なお、クリニカルパスがまだ作成されていない病気や検査もあります。また、患者さまの状態によつては標準的なスケジュールと異なる場合がありますので、クリニカルパスをお渡ししないこともあります。

当院のクリニカルパスは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士、事務員など各専門分野からの意見と、科学的根拠に基づき作成されています。

● 患者さま、ご家族への説明用紙として問題点を共有する

チーム医療を実現する

● 医療安全(リスクマネジメント)の推進をする



当院のクリニカルパスは、検査・処置・治療の指示(依頼)内容や、看護ケアの内容を複数の医療スタッフが確認するため、指示もれやチェックもれの防止に役立ちます。

これらの実現で、患者さまは適切な医療を効率的に受けることができます。

またクリニカルパスは、医療スタッフによって定期的に見直され改善されるので、質の高い安全な医療を確保するともできます。

● 医療を標準化する

当院のクリニカルパスの目標として次のもを挙げています。

クリニカルパスには、病院用・患者さま用と2つ準備されており、患者さま用クリニカルパス(=入院診療計画書)には、患者さまが入院してからの食事や処置、検査・治療、そのための準備、退院後の説明等が丁寧に詳しく記されています。

クリニカルパスとは?

入れるの?」「点滴はいつ外せるの?」といった基本的な入院中の生活が、わかりやすく書かれていますので、入院

生活をスマートに進めていただけると

考えています。

### 当院のクリニカルパスの目標

クリニカルパスの目標として

生活をスマートに進めていただけると

考えています。

クリニカルパスには、病院用・患者さま用と2つ準備されており、患者さま用クリニカルパス(=入院診療計画書)には、患者さまが入院してからの食事や処置、検査・治療、そのための準備、退院後の説明等が丁寧に詳しく記されています。

クリニカルパスには、病院

# クリニカルパスにはさまざま職種が関わっています

クリニカルパスは一つの職種だけで作成するとは出来ません。さまざまな職種が患者さまのことを考え、より良い医療を考えていきます。ここからは、それぞれの職種の役割を紹介していきます。



## クリニカルパス委員会

様々な職種が関わるクリニカルパスは、委員会で内容を検討しています。クリニカルパス委員会は、委員長を中心に、7つの班に分かれ、それぞれの課題に取り組んでいます。各病棟の代表者で構成されるクリニカルパス実践委員会と協力して、より良いパスになるよう検討を繰り返しています。その甲斐あって、クリニカルパスの利用件数・利用率は年々増加しており、今では、入院患者さまの約半数にクリニカルパスが使われるようになりました。

### クリニカルパス委員会



### クリニカルパス実践委員会



**臨床検査技師・診療放射線技師の関わり**

診療を進める際には、採血やレントゲン撮影をはじめ、さまざまな検査があります。その検査の必要性や実施回数、内容等を専門的な立場から考え、関わります。検査の回数が多ければ「安心」という訳ではなく、患者さまの身体への負担を最小限にして、より効果的な方法を考えています。

### 栄養士の関わり

病院では、食事も治療の一つです。栄養士は、患者さまの病気やクリニカルパスに合わせて、最適な治療食が提供できるよう関わります。特に糖尿病の食事療法や、抗がん剤による化学療法で食事が進まない患者さまには、個別にきめ細やかな対応を心掛けています。

### 薬剤師の関わり

薬剤師のクリニカルパスへの関わりは、投与される薬の選択と、薬の管理・指導があげられます。

### 薬の選択について

入院治療において薬は不可欠です。

- 使用する薬（内服薬、外用薬、注射）について説明をします。
- 持参された薬（内服薬、外用薬、注射）について説明をします。
- 薬と食べ物との飲み合わせを確認しています。

**クリニカルパス作成にあたって**  
クリニカルパスとは、患者さまを中心としたチーム医療を推進するために欠かせないツール（道具）です。チームで医療を進めるには、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士、事務員などたくさんの職種が関わります。

クリニカルパスは、なるべく多くの患者さまの診療に活用できるよう作成

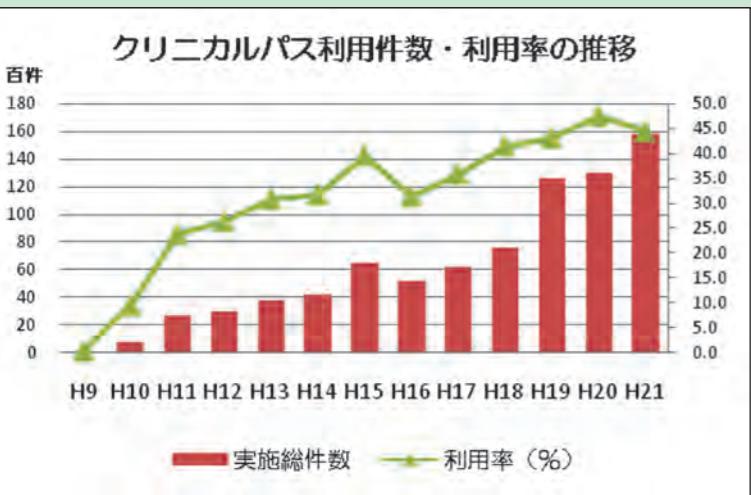
する必要があります。先述したそれぞれの専門家が意見を出し合い、今までの経験や治療実績、参考資料などを基に時間をかけて作っています。その中で看護師は、時には患者さまの代弁者となって関わる『コーディネーター（調整員）』の役割も担っています。

### 看護師の関わり

クリニカルパスは一つの職種だけで作成することは出来ません。さまざまな職種が患者さまのことを考え、より良い医療を考え、それを実現する上で、看護師は、時には患者さまの代弁者となって関わる『コーディネーター（調整員）』の役割も担っています。

### クリニカルパス運用にあたって

診療を受けていただく患者さまに、医療者が一番長い時間、より深く関わるのが看護師です。患者さまが、医師の説明を理解し同意（インフォームドコンセント）のあと、はじめて治療が開始されます。患者さまにより理解していただけるよう、クリニカルパスに基づいて詳しく説明をします。患者さまやご家族にご理解いただけるように、なるべく分かりやすい言葉で説明するよう心掛けています。心配なことや不安等ありましたら、いつでもおたずねください。



**特に手術のクリニカルパスについて**  
感染予防のための抗生素の点滴や、手術後の痛み止めなどが投与されます。クリニカルパスで標準化する薬剤の選択にはEBM（evidence-based medicine…根拠に基づいた医療）を基に行っています。EBMでは、あいまいな経験や直感に頼らず、科学的な根拠に基づいて最適な医療・治療を選択実践することが重要です。これらのことをしていきます。

### 薬の管理・指導

入院された患者さまに対しても使用されている薬（内服薬、外用薬、注射）の説明や確認を行っています。これを薬剤管理指導と呼びます。クリニカルパスでもいろいろな薬が使われます。それらの薬についての薬剤管理指導では、次のようなことを行っています。

- 使用する薬（内服薬、外用薬、注射）について説明をします。
- 持参された薬（内服薬、外用薬、注射）について説明をします。
- 薬と食べ物との飲み合わせを確認しています。

## さまざまな職種が関わるクリニカルパス

治療の内容や療養に関することは医師・看護師が、薬に関することは薬剤師が、などと役割分担をして、患者さまに情報提供をしていきます。療養する上で不安な点や説明の内容について分からなことがあります。療養する上相談ください。

- 薬の副作用についての説明をし、現在の症状や検査値を確認して、副作用がないかの確認を行います。
- 健康食品や市販の薬の使用状況を確認して、治療を行っていく上で問題がないか確認します。

みなさまは様々な不安を抱えて病院にお越しになると思います。ましてや入院ともなると、現在の病状・治療経過が最も心配になるかと思いますが、入院費用についても気になるといふではないでしょうか？わたしたち事務員は、診療に関する不安を解消することは出来ませんが、入院費用のお問合せに関して、多少なりともお力になれればと思つております。

股関節の手術を受けられる方へ					
今回の治療における予定です。治療の経過により変更されることがあります。ご不明な点はスタッフへお尋ね下さい。					
手術日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目
4/8(金)	4/9(土)	4/10(日)	4/11(月)	4/12(火)	4/13(水)
抗生剤（手術後の感染の予防） セファメジンα注 手術時、帰院後	⇒朝、夕	⇒朝、夕			
補液（不足している水分や電解質を補給します） 術前：ラクテック 術後：ヴィーンF					
鎮痛剤（手術後の痛みを和らげます） 背中に麻酔薬の管が入ってきます。					
	⇒痛みが強いときはスタッフへお知らせください。				
	血栓予防 アリクストラ皮下注 ⇒21時	⇒10時	⇒10時	⇒10時	⇒10時

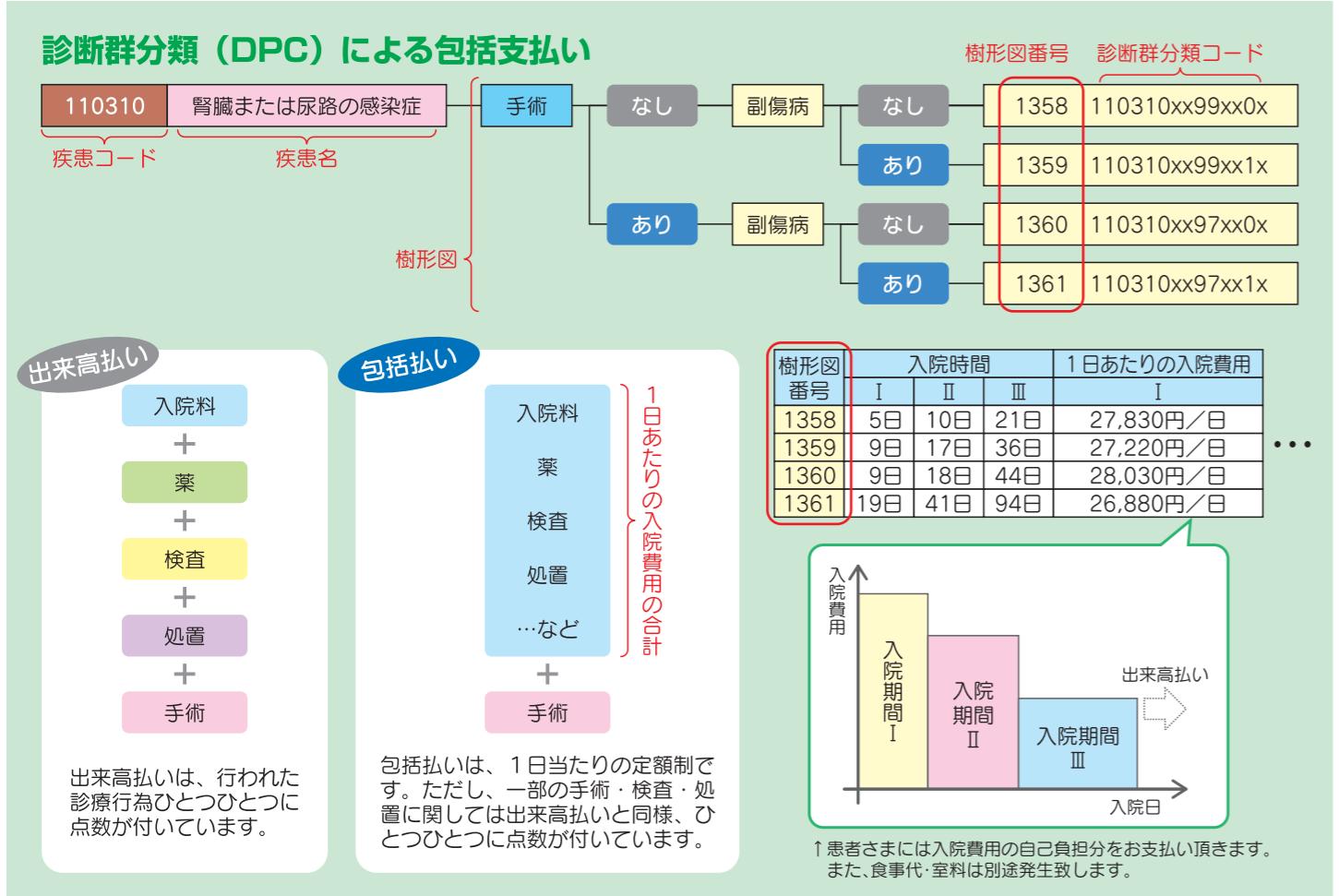
←薬剤管理指導用の説明用紙



↑薬剤管理指導のようす



↑看護師による療養に関する説明のようす



約10年が経過した現在、クリニカルパスを導入していない病院はないと言つていいほど、普通に使用されるようになりました。この10年間で変化したことは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士、事務員などの、治療にかかる多くの人たちが話し合い、標準的な治療といふものが何であるかを、それぞれの病院で検討してきたことです。そして、それとの病院で作り上げた標準を、更に全国学会を通して、学術的な証拠（工

日本の医療界でクリニカルパスなるものを耳にするようになったのは、約10年前のことです。その頃は、たとえ疾患が同じ患者さまでも、同じように治療することは難しいだろうといったことで、なかなか理解が得られませんでした。同じ疾患であれば、患者さまが異なつても、また治療する医師が異なつても、期待できる結果は変わらないはずです。しかし、細かい違いに気を取られ、自分のやり方にこだわり、本道を見極められない医師たちがなかなかクリニカルパスの導入に踏み切れずになりました。

## おわりに

ビデオ）と照らし合わせて、全国的な標準であるクリニカルパスを書きあげました。

今後もなお、新しい治験や研究から新しい証拠（エビデンス）が生まれ、それによって日本全国の医療機関で使用可能なクリニカルパスが進化していくと考えられます。クリニカルパスを進化させることで、治療を受ける患者さまの側に立った、安全で分かりやすい標準的な治療が今後も生まれてくることでしょう。

## 筆者紹介



診療部 呼吸器外科 診療科長  
**田島 敦志 医師**  
(クリニカルパス委員会 委員長)  
  
《学会専門医等》  
日本外科学会認定医・専門医  
日本呼吸器外科学会専門医  
日本胸部外科学会認定医  
日本呼吸器内視鏡学会  
気管支鏡専門医・指導医

が事前にわかり、クリニカルパスに応じたおおよその入院費用についてお答えすることが出来ます。ただし、当初の計画通りに治療が進む方ばかりではなく、予期しない合併症が出現してしまった場合、治療費用が増加する場合があります。また、複数のバスを組み合わせて治療を進める方などもおられるため、一律に判断できない場合があります。さらに薬剤や診療材料によってもご請求額が変わってくることから、事前にお知らせする入院費用の概算はあくまで目安とさせて頂いています。しかし、今後もクリニカルバスと入院費用に関しての検証は、続けてまいりたいと思います。

また、複数のバスを組み合わせて治療を進める方などもおられるため、一律に判断できない場合があります。さらに薬剤や診療材料によってもご請求額が変わってくることから、事前にお知らせする入院費用の概算はあくまで目安とさせて頂いています。しかし、今後もクリニカルバスと入院費用に関しての検証は、続けてまいりたいと思います。

今は事務員の関わりとして入院費用の概算について説明させていただきま

当院の入院費用は、診療行為ごとに計算する「出来高払い方式」とは異なり、入院患者さまの病名や症状をもとに、手術などの診療行為の有無に応じて決定される診断群分類（DPC）による「定額払い方式」で算出しています。そのため、クリニカルバスにより標準的な治療が行われる場合、病名・入院日数・手術の有無および術式など

用の概算について説明させていただきましたが、この他にも事務部門では、転院先の調整や、介護保険等の各種制度に関するご案内など、さまざまな形で陰ながらサポートをさせて頂いております。出来るだけ多くの方の心配や不安を軽減し、治療に専念していただけよう、今後も鋭意努力してまいります。